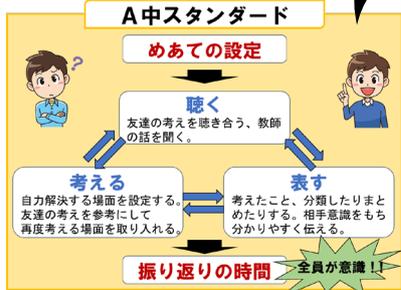


# 組織の編制と活動

# 「A中スタンダード」を基盤とした組織づくり

「A中スタンダード」とは、「読み解く力」を意識した授業づくりを、A中学校の実態に合わせて視点を整理したものです。授業の中で、「めあての設定」「考える」「聴く」「表す」「振り返りの時間」を効果的・計画的に設定することで、生徒の「伝え合う力」を育成します。5月に全教員が「A中スタンダード」を軸にして自分の授業を分析し、その分析をもとに課題を見だし、個々の研究テーマを設定しました。さらに、似た課題をもっている教員でグループを編制し、校内研究のグループとしました。

全ての教員、全ての学年、全ての教科で目指す生徒の学びの姿



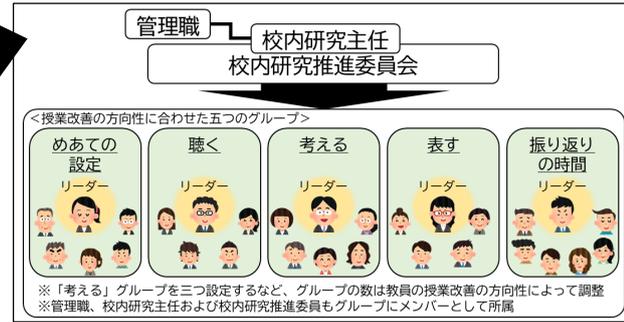
自己分析シート  
所属学生( )年・教科( )科・名前: [ ]

★自分の授業の強み・課題はどこだろうか

授業スタンダード	強み	課題	まとめ
めあての設定	聴く	考える	表す
振り返りの時間	聴く	考える	表す

私は今年度、A中スタンダードの「めあての設定・聴く・考える・表す・振り返りの時間」の部分で、めあての導入の工夫として、振り返り、めあての一体化を実践していきたい。

自己分析(5月)



## グループ編制

各教員の授業改善の方向性に合わせてグループを編制

教科担任制である中学校では、「共通実践」を行うことが難しいと感じていました。しかし、「A中スタンダード」があることで、どの教科でも校内研究を意識して取り組むことができ、まさに「共通実践」となりました。また、自分の授業を分析する視点になったり、授業における課題設定のヒントになったりするなど、様々な場面でこのスタンダードが基盤となり、より具体的に授業改善の方法を模索することができました。生徒にとっても、今、何をすべき時間なのかが分かりやすくなりました。

(A中学校 校内研究主任)